

## 【公益目的事業 1】

### 公演事業

#### 1. 電子楽器を活用した公演

国内外で電子楽器演奏を中心に活動するプロの演奏家、あるいは新進演奏家を招き、より多くの一般市民に電子楽器の演奏とその魅力に触れる機会を提供した。コンサートを大都市に限らず地方都市でも行うことによって、地域の電子芸術文化の活性化を図った。

#### ■自由が丘スイーツフェスタ「ローランド・ライブ」

- <日程/会場> 平成26年5月5日（日）～6日（月）自由が丘  
あおぞら銀行1F オアシスルーム 延べ140名（2日間）  
自由が丘駅前メインステージ 約600人（2日間）
- <協力> ローランド株式会社

#### ■シネマ&ジャズオルガン LIVE in 福山2014

- <日程/会場> 平成26年5月24日（土）福山：シネフク「大黒座」 187名
- <出演者> 出射かおり、鈴木泉、橋本有津子、廣岡朋子、美淋つゆ子  
久保田麻里、池田百恵
- <入場料> 一般：2,500円 学生：1,500円
- <共催> 福山リビング新聞社
- <後援> 音楽館ピアノプラザ、株式会社山陽こだま楽器
- <協力> 株式会社フューレック、ローランド株式会社

#### ■チャップリン&トムとジェリー オルガン the LIVE

- <日程/会場> 平成27年3月29日（日）福山駅前シネマモード 154名
- <出演者> 熊埜御堂可奈子、美淋つゆ子、出射かおり、鈴木泉、廣岡朋子  
横山功一、門田 信、酒井まろ、岩井春奈、花村祐太
- <入場料> 一般：2,500円 学生：1,500円
- <共催> 福山リビング新聞社
- <後援> 音楽館ピアノプラザ
- <協力> 株式会社フューレック

### 講演会事業

電子楽器への理解を深めることを目的として、演奏を聞かせるだけでなく、常に解説を交えながら、教育的観点の要素も取り入れた講演会を開催した。

## ■大高清美オルガンアクト2 (TALK&LIVE)

<日程/会場>	平成27年3月21日 (土) トート音楽院渋谷	70名
<講師及び出演者>	大高清美、矢堀孝一、佐藤奏	
<入 場 料>	前売り：2,500円	当日：3,000円
<協 力>	トート音楽院、ローランド株式会社	

## 【公益目的事業 2】

### 助成事業

#### 1. 助成金支給

電子楽器、電子技術を活用したコンサートや海外での音楽活動の支援など、団体・個人を問わず、電子楽器のさらなる発展と普及に結びつけていくことを目的に助成事業を行った。電子技術を応用した芸術活動を支援することで、芸術・文化活動の発展に寄与、社会に貢献することができた。

#### <助成先>

(公演活動助成)

- 特定非営利法人電子オルガン普及研究事業アマービレ  
「第4回アマービレ電子オルガンコンテスト」
- システムサウンド21  
「システムサウンド21 講師コンサート」
- KYOKO MUSIC STUDIO  
第6回木曾三川公園 キッズストリート
- 一般社団法人ふじのくに文教創造ネットワーク
  
- TEENS ROCK IN AICHI 実行委員会

(講演会助成)

- O.E.I. (Organ Education Initiative)  
「アメリカでのコンサート、講演会、研修会」

(機材助成)

- 社団法人日本童謡協会
- 九州音楽コンクール実行委員会
- 社会福祉法人 みどりの樹
- 一般社団法人 全日本ピアノ指導者協会

(国際交流助成)

- 株式会社東京国際フォーラム  
「ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン『熱狂の日』音楽祭 2014」

<助成金総額> 3,408,917 円

## 2. 奨学金支給

公共の教育機関で学ぶ学生のうち、電子楽器の専門的な習得を目指す学生に対し奨学金を支給した。

- < 給付期間 > 平成26年4月1日～平成27年3月31日までの一年間  
< 対象者数 > 1名 月森 彩芽 (同志社女子大学 学芸学部音楽学科 3年)  
< 支給総額 > 36万円 (年間)

## 【公益目的事業 3】

### 音楽学習者育成事業

#### 1. 英国王立音楽検定の運営

音楽教育水準の向上と音楽の普及を目的とし、およそ90カ国、年間62万人以上が受検する世界標準の音楽検定として高い信頼性を誇る英国王立音楽検定を日本国内で実施し、広く一般層から各種の楽器による受検者を募集し、受検の機会を提供した。

##### < 実施概要 >

- 春期 : [実技] 平成26年5月～6月 176名  
東京、愛知、大阪、兵庫  
: [理論] 平成27年3月28日 137名  
東京、愛知、兵庫、徳島、福岡

##### < 実施概要 >

- 秋期 : [理論] 平成26年11月1日 77名  
東京、愛知、兵庫、福岡  
[実技] 平成26年11月～12月 168名  
東京、愛知、大阪、兵庫、高知、福岡、大分

#### 2. マスタークラス

オルガンやピアノ、ジャズやクラシックなど楽器の種類やジャンルを問わず、総合的な鍵盤楽器のプレイヤー及び、優れた指導者を輩出するための「教育機関」として運営。今年度は、英国王立音楽検定の指導者向けに大阪で開催した。

- < 実施日程 > 平成27年3月20日 (金)  
< 内 容 > 「英国王立音楽検定」から学ぶピアノ指導法  
< 担当講師 > 相愛大学 赤石敏夫教授  
< 受講者 > 10名

#### 3. 日本における総合大学への音楽マイナー (単位認定) 導入を目指すプロジェクト

特にクラシック音楽の専門的教育を総合大学の音楽マイナー（単位認定）として設置することで、音楽を通じて「感性と創造性」を磨き、本当の意味での人材育成の場としての大学教育を構築する。前年度に発足させた、慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科とのプロジェクトチームとともに、今年度も引き続き総合大学に音楽マイナー（単位認定）を導入するための研究を行った。

< 研究期間 > 平成26年4月～平成27年3月

< 研究実施場所 > 慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科附属メディアデザイン研究所

< 研究費 > 3,240,000円